備え4
気象情報や避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難を

【気象情報の入手】

風水害を誘発する雨や風の情報は、テレビやラジオなどの気象情報（天気予報）から収集することができます。また、河川水位情報は、水郷テレビ、KCVのdボタンで収集することができます。

その他にも右記に記載している市の情報収集ページなどをご活用ください。

▼主な気象情報の種類

- **注意報**
  災害が起こる恐れがある
- **警報**
  重大な災害が起こる恐れがある
- **土砂災害警戒情報**
  土砂災害が起こる恐れがある
- **特別警報**
  重大な災害が起こる恐れが著しく高まっている

【避難情報の入手】

大雨や強風が予想され、それに伴い災害の発生が予想される場合は、市から避難情報を発令します。この避難情報の種類は3通りで、意味合いは次のとおりです。災害の避難で何よりも大切なことは、危険を感じたら自らの判断で避難することです。避難情報が発令されていない場合でも、危険を感じたらすぐに避難してください。

▼主な避難情報の種類

- **避難準備・高齢者等避難開始**
  避難するのに時間を要する人は、避難の準備を行い、避難を始めてください
- **避難勧告**
  皆さん避難してください
- **避難指示（緊急）**
  皆さん避難しなさい

ー気象情報や災害情報などの情報収集ー

KCV・水郷テレビ（11チャンネル）

ひた防災メール、ダム放流、河川水位、学校情報メール、まもメール（大分県警察）、安心安全メール（大分県）と連動し、発信された内容を確認できます。
また、火災発生情報や避難情報、市指定避難所開設情報などを確認することができます。

市ホームページ・市フェイスブック

気象情報や災害情報、被害情報、道路通行情報等を「緊急情報」として発信しています。また、市ではフェイスブックを活用し、行政情報を発信しています。

学校情報携帯メール

犯罪や災害などの緊急情報、登録した学校の情報をお知らせします。
e@ansin-hita.jp宛に空メールを送信し、返信されたメールから登録ください。

スマホ版　川の防災情報

国が管理する筑後川で、氾濫の危険が高まった時、緊急速報メールが自動で発信されます。メールを受診したら「スマホ版川の防災情報」で雨の降り方や筑後川の現在の水位情報を確認しましょう。

ひた防災メール

気象警報や震度情報、防災行政無線の放送内容、避難情報をメールでお知らせします。
hitacity@jijo.bosai.info宛に空メールを送信し、返信されたメールから登録ください。

※迷惑メール防止機能を使っている人は、登録前に各アドレスからのメールが受信できるよう設定の確認をお願いします。

備え5
警戒レベルを用いた情報伝達

今年度から新たに、警戒レベルを用いた情報伝達を行います。発令された警戒レベルを基に、どのような行動をとるべきか、事前に確認しておくようにしてください。

左記の表（警戒レベルの種類）を参考に、行動しましょう。

▼警戒レベルの種類

警戒レベル	居住者等がとるべき行動
レベル５	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。
レベル４	・避難所等への立退き避難をする。 ・避難はかえって危険と自ら判断する場合は近隣の安全な場所への避難をする。
レベル３	高齢者等の要配慮者は立退き避難し、その他の人は自発的に避難する。
レベル２	避難に備え、ハザードマップ等で自らの避難行動を確認する。
レベル１	防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める。

＜警戒が必要なときは、以下の放送が流れます＞

日田市災害対策本部からお知らせします。

大雨による土砂災害の恐れがあることから、○○地区に警戒レベル３、避難準備・高齢者等避難開始を発令します。

お年寄りの方など避難に時間がかかる方は、避難を開始してください。開設避難所は○○と○○です。

防災行政無線の放送内容が電話とメールで確認できます

防災行政無線の放送が聞こえにくい時や、聞き逃した時などに右記ダイヤル番号に電話をかけることで、新しい順に放送内容を確認することができます。

また、ひた防災メールに登録することで放送内容をメールで確認（火災を除く）することができます。

ひた防災メールの登録は10ページからお願いします。

確認ダイヤル☎㉕５０４０
（火災専用確認ダイヤル☎㉓４１００）

避難情報が発令されていなくても、危ないと感じたら、すぐ避難してください。

全国瞬時警報システムの一斉情報伝達訓練

市では、全国瞬時警報システムＪ-ＡＬＥＲＴ（ジェイ・アラート）を使用した、一斉情報伝達訓練放送を実施します。

■とき　６月18日㈫　午前10時頃

※気象状況等によって中止する場合があります。
※緊急情報伝達を目的とした訓練ですので、最大音量（通常の約２倍の音量）で放送されます。